



# 代表質問

第1回定例会において4会派が代表質問を行いました。主な質問内容は次のとおりです。なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

自民党



三島 良之議員

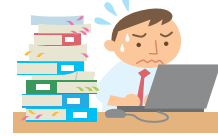
質問

### 平成29年度予算編成にあたっての基本的な考え

熊本地震からの復旧と復興には、長期かつ膨大な費用が必要であり、本市における今後の財政負担については、誰もが危惧しているところ。本市が目指す上質な生活都市の実現、山積する課題への対応に向けた予算編成は、

答弁

熊本地震からの復旧・復興を加速するため、国・県の支援を最大限活用するとともに、事務事業の見直しや業務の効率化により復興に必要な人員と財源を確保し、新しい本市の創造に取り組む復興元年の予算編成を行った。



### その他の質問項目

- 地域経済の活性化戦略について
- 市役所改革について
- 庁舎管理について

市民連合



田辺 正信議員

質問

### 熊本遺産を活かした魅力ある観光都市

西南戦争遺跡、熊本城跡、川尻米蔵跡等、熊本遺産を活用した、国内外の観光客等を惹きつけるような、魅力ある観光都市くまもとに向けての事業を、どのように進めていくのか。

答弁

特に「西南戦争」について、140周年にあたることや、大河ドラマが「西郷どん」に決定し、ゆかりの地が注目されることを絶好の機会と捉え、観光客を惹きつける魅力あるストーリーとして重点的に発信していきたい。



田原坂公園の美少年像

### その他の質問項目

- 「熊本地震」の復旧・復興について

公明党



井本 正広議員

質問

### 生活再建支援制度の継続について

被災者への生活再建支援メニューの更なる期限の延長は必要であり、各種被災者生活支援制度の更なる継続・拡充を求めるとともに交付税措置を含む財政支援の継続・拡充を、国へ強く要望していただきたい。

答弁

様々な生活再建支援制度の期限が迫っている中で、被災者の現状把握に努めながら、支援に必要な制度拡充や財政支援について、引き続き国や県に対し要望活動を行っていく。



### その他の質問項目

- 平成29年度当初予算について
- 平成28年度予算の復旧事業費について
- 安定的な水の供給を確保するための水道事業について
- 避難所に求められるインフラ整備について
- おでかけパス券の廃止について
- 子ども医療費助成拡充について
- 国保制度改革について
- 教育環境の整備について

くまもと未来



重村 和征議員

質問

### 国際観光都市の礎に熊本城修復現場観覧を

熊本城が復旧していく姿をリアルタイムに間近に見せる手立てとして、正面の頬当御門から専用通路を確保し、数寄屋丸前の広場に見晴台を作り、天守閣や宇土櫓等の修復工事を観覧できるようにしては、

答弁

工事ヤードとしての継続的使用から、数寄屋丸前広場の当面の活用は困難だが、活用可能なエリアの出来るだけ間近な場所に見学ヤードを設置したいと考えており、復旧基本計画策定の中で更に検討を進めていく。



### その他の質問項目

- 大西市長の一字漢字「新」にかける想いについて
- 平成29年度の市政運営の基本方針について
- 若者が暮らしてみたい、魅力あふれるまちの創造とは
- 平成29年度当初予算を概観して

## 子ども医療費助成制度の見直しについて

### 【これまでの経緯】

子ども医療費助成制度の拡充にあたっては、平成28年第1回定例会において、0歳から小学3年生までを助成対象とした現行制度を基本とし、平成28年第3回定例会までに再考されるよう強く要請する附帯決議案を全会一致で可決しました。

しかしながら、平成28年8月22日の議会運営委員会において、市長から本助成制度の見直しについて、「再考にあたって、子育て世帯への意見聴取と状況把握に取り組むこととしていたが、熊本地震の発災により見直しに向けた取り組みを十分に行うことが出来なかった」、「子育て世帯を含む市民の生活状況も震災で大きく影響を受けたことから、平成28年第3回定例会での提案を延期する」、「今後、子育て世帯の意見を聴取し、詳細な状況把握に努めながら丁寧な制度設計を行い、平成29年第1回定例会での再提案を目指す」旨の報告がありました。

### 【平成29年第1回定例会における改正案の概要】

#### (1) 助成対象年齢の拡充について

①子どもの成長過程全体で経済的負担の軽減を図り、安心して子育てできる環境の確保

②入院・通院ともに現在の小学3年生から中学3年生に引き上げることで、子育て世帯の経済的安心感の向上

#### (2) 自己負担額について

①入院については、医科、歯科とも中学3年生まで無料

②小学4年生から中学3年生まで外来及び調剤について、現在3割負担である自己負担を1,200円の限度額とし、平成28年第1回定例会改正案で1,000円としていた3歳から小学3年生までの通院（歯科は5歳から小学3年生までの通院）及び調剤は700円の自己負担

### 自己負担額

		現行制度	平成28年第1回定例会改正案	平成29年第1回定例会改正案
入院	0～2歳 (歯科は4歳まで)	0円	0円	0円
	3歳～小3 (歯科は5歳から)	500円	0円	0円
	小4～中3	3割負担	0円	0円
通院	0～2歳 (歯科は4歳まで)	0円	0円	0円
	3歳～小3 (歯科は5歳から)	500円	1,000円	700円
	小4～中3	3割負担	1,000円	1,200円
調剤	0～2歳	0円	0円	0円
	3歳～小3	0円	1,000円	700円
	小4～中3	3割負担	1,000円	1,200円

### 【議会からの意見要望】

- 平成28年第1回定例会において、再考を求める附帯決議を付したにもかかわらず、今回の提案は、附帯決議の内容を反映したものになっておらず、執行部の姿勢に対し、多くの議員から強い義憤が呈されている。しかしながら、助成制度の早期の拡充は、多くの市民はもとより、議会としても切望するものであることから、これまでの議論を踏まえ、平成30年1月からは、中学3年生までの拡充を図る新制度が開始されることとなるが、平成31年1月からは、小学生の間での自己負担額の区分がない、更に改善された制度に移行することを提案したい。
- 市長の公約である現行制度の中学3年生までの拡充が実現されていない現状から、財源確保の見通しが甘かったと指摘したい。